

エンrollmentマネジメントの展開——

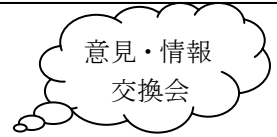
学生確保策のコンセプト転換とシナリオ

～ 教学・キャリア教育の革新／入試・広報・募集の連動／教職員・学生の協働 ～

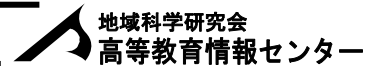
- ※ 見かけの志願者数と実志願者数／第一志望度の検証／教育・就職力と募集力の関係／APの具現化と入試改革
- ※ [共愛学園前橋国際大] 地方・少規模・新設だからの“私の大学”づくり／学生増への仕掛け
- ※ [畿央大] 個性が輝く～プロジェクト型改革／全入と不況を逆に／学生が社会と行き来する大学へ
- ※ [金沢星稜大] 意欲喪失状態・定員割れ・留学生依存からの脱却／2回の改革成果から第3段階へ

● 講師陣 ●

- 井沢 秀 氏 / 大学通信 情報調査・編集部 チーフ
- 大森 昭生 氏 / 共愛学園前橋国際大学 副学長
- 水上 亨男 氏 / 畿央大学 入学センター長
- 坂野 光俊 氏 / 金沢星稜大学 学長



2014 年 3 月 17 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



日時：2014 年 3 月 17 日 (月) 10:00～16:50
 会場：剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷
 駅」麹町口より徒歩 10 分

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ
 FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。
 参加費：A. ご一名(資料代込) 41,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加(資料・音声 CD 送付)
 42,000 円 (消費税、送料込)

口座名 < (株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。
 ※開催後に当日配布資料及び音声 CD をご送付します。
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたします。
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel：03(3234)1231 / Fax：03(3234)4993
 E-mail：kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL：http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆同人組織としての「高等教育計画経営研究所」を創設、KKJ の URL にてご覧ください。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 259

2014 年 月 日

学生確保策のコンセプト転換とシナリオ

(□に✓印を) 当日参加 メディア参加

勤務先 _____

支払方法 郵便振替 当日払い 銀行振込

所在地 〒 _____

必要書類 請求書 見積書

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 } 11:20	<p>□ 少子化の時代に志願者を集める大学はここが違う ～ 08年～13年間の志願者増減から受験生のトレンドを学ぶ ～ 大学通信 井沢 秀</p> <p>1. 志願者が増えた大学と減った大学の事例 (1) 理系学部人気追い風に (2) 女子の支持がなければ志願者が増えない (3) 出願の手間と受験料の負担減 (4) 苦戦する大規模難関大学</p> <p>2. 教育・就職力と募集力の関係 (1) 就職率の高い大学は志願者が集まるか (2) 面倒見のいい大学への期待感 (3) グローバル人材の養成力がカギ (4) 研究力と募集力は相関するののか</p> <p>3. アドミッションポリシーの具現化と入試改革 (1) 見かけの志願者数と実志願者数 (2) 学内併願制度の仕組み (3) 現役入学率から第一志望度を検証する (4) アドミッションポリシーにかなう学生をどう選抜するか (質疑応答)</p>
11:30 } 12:30	<p>A [共愛学園前橋国際大] 地方・小規模・新設をメリットに ～ 10年間で定員割回復・志願者2倍・在籍学生1.5倍(過去最高)のシナリオ ～ 共愛学園前橋国際大学 大森 昭生</p> <p>1. はじめに～本学の概要と現状(志願者・入学者・在籍者の推移) 2. 地方・小規模・新設だからできること? (1) 地域に愛される大学のすすめ (2) コンパクトカレッジの強み～ちょっと大変だけど実力がつく大学です (3) 新設だからできた(?)独自の大学運営～キャンパスは共創のコミュニティ</p> <p>3. 進化/深化プロジェクト～学びの共愛へ (1) ユビキタス共生キャンパス (2) KYOAI COMMONS～アクティブラーニング専用校舎 (3) 文科省「グローバル人材育成推進事業」採択 (4) 学生プロジェクト支援</p> <p>4. 学生数増への具体的な仕掛け (1) コース制・資格特待生の導入と入口→出口→入口の好循環 (2) 入試レベルの維持とその覚悟 (3) 地域重視・「私の大学」をつくる・学生中心主義の真の意味 (質疑応答)</p>
13:30 } 14:30	<p>B [畿央大] 個性輝く小さな大学をめざして ～ 小規模新設校の挑戦 ～ 畿央大学 水上 亨男</p> <p>1. 畿央大学 10年の軌跡 (1) 入口に全力投球(2003年～05年) (2) 教育改革の推進(2006年～08年) (3) 入口・中身・出口三位一体の改革(2009年～13年)</p> <p>2. 小さな大学の戦略と広報戦術 (1) 全入と不況を逆手にとる (2) プロジェクト型改革の推進 (3) 体験主義に基づいた社会人基礎力育成 (4) 100%進路保証をめざす</p> <p>3. 新たな10年へのスタート (1) 健康と教育の総合大学へ (2) 教職協働の推進で学生支援をすすめる (3) 大学改革の糸口は学生との接点にあり (4) 学生が社会と行き来する大学をめざして (質疑応答)</p>
14:40 } 15:40	<p>C [金沢星稜大] 「学生の成長」本位の大学運営と就職支援抜本拡充がカギ ～ 金沢星稜大学の入学者確保政策の基軸 ～ 金沢星稜大学 坂野 光俊</p> <p>1. 改革前：意欲喪失状態の教職員・学生、定員割れ・全入と留学生依存 2. 第1段階：「学生の成長」本位の大学創りと就職支援の抜本拡充(2005年度) (1) 「学生の成長を第一に」：教育重視・学生本位の大学運営の実現と教職員の意識改革 (2) 基礎学力引上げと社会人基礎力形成のためのカリキュラム改革 (3) 各種資格取得と特待生制度による学修促進：就職支援活動の抜本的拡充 (4) 自己卑下感情の克服(自己肯定感の醸成)とキャンパスライフの確立</p> <p>3. 第2段階：単科大学から複数学部大学へ(2007年度) (1) 経済学部が続いて人間科学部(スポーツ学科+こども学科)の開設 (2) 志願者層の拡大と学力上位層の比率増大 (3) 学生・教員の多様化、大学プレゼンス向上、財政的安定度・サステナビリティの増大</p> <p>4. 改革の成果と残された課題(改革第3段階へ) (1) 成果(出口と入口との好循環の形成とブランド価値の定着) (2) 課題1：志願者数の量的質的拡充策と高学力層の歩留率引上げ策 (3) 課題2：「研究に基礎づけられた大学教育」の実現(「地域社会の頭脳」の実現) (4) 課題3：総合大学化(新学部創設)計画と財政的安定化 (質疑応答)</p>
15:50 } 16:50	<p>[意見・情報交換会] 2020年問題に向けた学生確保策のシナリオ ～ 井沢秀氏、大森昭生氏、水上亨男氏、坂野光俊氏を囲んで ～</p>